

憧れ、走り続けたジャズドラマー

導かれた天川の縁、実現へ夢

奈良高校出身でジャズドラマーとして活躍する平井景さんは今秋、セカンドアルバム「Running Man」をリリースした。多いときは年1〜2回回のライブをこなすなど、ドラムに憧れ、走り続けた平井さんが、今回のアルバム作りや、過去7年間行ってきた天川村でのコンサートなどについて、大垣知哉さんと対談した。会話を通じて2人が天河大辯財天社にご縁ができたことがわかり、「共におもしろいことをやろう」と、話に花が咲いた。

中学、高校の青春時代を奈良で過ごしたシンガーソングライターで俳優の大垣知哉さんが、奈良にゆかりのある一流の「仕事人」と、奈良への思いや仕事について対談します。

チャイムを押ししても誰も出てきてくれない。

どうしても見たい。その一心で窓に小石を投げ、ようやく気付いてもらえました。大学生のお兄さんが出てきてくれて「ドラムセットを見たいです」とお願いしたんです。お兄さんは快く「たいていみるか？」と言ってくれました。

大垣 僕らの世界って、つつい足し算をしてしまふところがあると思うんですよ。隙間って怖いんですから。

平井 すごくわかりますよ。隙間はすごく怖いですが、ね。そしてもう一つ、今回のアルバムは、一流のミュージシャン&スタッフに助けられました。チームワークは宝物ですね。

大垣 全国各地、奈良県内でも活動されている平井さんですが、奈良での活動はまた違った感情がありま

すか。

平井 実は、学生時代の後輩の紹介で、28歳から35歳までの7年間、奈良の天川村から呼んでいただいていた、毎年クリスマス・コンサートを開催していただきました。お客さんは天川村の皆さんで、毎回100人以上の方がお越しくださいました。

懐かしい風景に触れることができました。

大垣 ええっ！僕も先日、引き寄せられるように天河大辯財天社に参ったばかりです。天河大辯財天社は「縁がなければたり着けない」と言い伝えがあるそうです。ようやく呼んで頂けたようで、すごくうれしかったです。

平井 このお話には、まだ続きがあるのですよ！その後また、天河大辯財天社を参らせて頂く機会があり、色々ないきさつを経て「天河大辯財天社の能舞台でドラムを叩きたい！」という僕の思いが伝わり、能舞台で奉納演奏をさせていただきます。話へんと、トントン拍子で進んだのです。ですが残念なことに、その演奏予定だった一昨年は台風の被害を受け実現できませんでした。今も、能舞台で奉納演奏をさせて頂きたい思いを持っています。

大垣 すごく！ぜひ、ワンフリースでも一緒に一緒にさせていただきます。僕も先日「能舞台で歌わせていたください！」と、思ったんです。

平井 ご縁ですね。ぜひ、実現させたいですね。なるほど、あの時は、大垣さんというピースが足りなくて、実現しなかったのかな？おもしろいことを考えてみたいですね。



ジャズドラマー
平井景
Guest

シンガーソングライター・俳優
大垣知哉

大垣 知哉 おおがき・ともや
2005年デビュー。学生時代を過ごした奈良を拠点に活躍中。
主演映画/369のメトシエラ、TVドラマ/日テレ・リパウンドレギュラー、CM多数出演
<http://tomoya.info/>



平井 景 ひらい・けい
大阪生まれ、奈良育ち。1992年より活動を本格化し、数々のコンテスト受賞者を持つ。
全国各地での自身のコンサート、有名アーティストのプロデュース、NHK・TV番組、ラジオ番組オープニング&エンディング・テーマおよびBGMの作曲・音楽制作担当。
大手企業CM、内閣府ビデオ、テレビ番組音楽などの作曲・音楽制作を担当。
<http://www.kayhirai.com>

